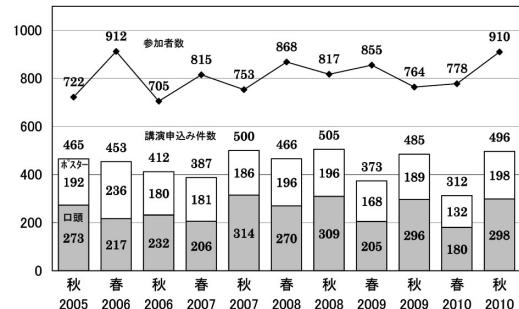


2010年度秋季大会の報告

2010年度秋季大会は、京都テルサ（京都市南区東九条下殿田町70番地）を会場として2010年10月27日（水）～29日（金）に行われた。参加者数（前納登録者と当日受付者の合計）は910名で、2006年度春季大会（912名）に次ぐ数となり、秋季大会としては過去最多であった（第1図）。

講演は特定のテーマによる7件のスペシャルセッションと一般口頭セッション及びポスターセッションで行われた。講演申込み件数は496件と平年並みで、その内訳はスペシャルセッションを含めた口頭発表が298件、ポスター発表が198件であった。一般口頭発表の持ち時間は発表7分+質疑2分で平年並みであった。

2日目午後には、京都テルサ・テルサホールにおいて山本・正野論文賞が小坂 優氏と弓本桂也氏に、堀内賞が三好勉信・藤原 均の両氏と石井正好氏に、奨励賞が栗原佳代子氏、村山 保氏、東 克彦氏にそれぞれ授与された。授賞式に続いて山本・正野論文賞及び堀内賞の受賞記念講演が行われた。記念講演に引き続き、大会シンポジウム「大気圏のさまざまな境界面での相互作用」が行われた。



第1図 過去5年間の大会参加者数と講演申込み件数（口頭、ポスター）。

会期中およびその前日には、個別のテーマによる研究会が5件開かれた。

最後に、今大会実行委員会として大会準備・運営にご尽力頂いた大阪管区気象台、京都大学、神戸大学、同志社大学、日本気象予報士会関西支部をはじめとする関西支部の皆様に深く感謝の意を表します。

2010年11月 講演企画委員会